

こころの健康フォーラム開催♪

平成27年9月11日（金）に道後公民館にて「こころの健康フォーラム」を開催しました。道後地区の民生委員の方を中心に約80人の方にご参加頂きました。

「認知症になっても地域で暮らせるようにみんなで支え合おう」と題して、牧病院の牧徳彦先生を講師にお招きし、基礎的な認知症に関する知識と対応方法についてご講演頂きました。

牧先生からアルツハイマーやレビーといった認知症の種類・症状、認知症の方への接し方や対処の仕方などについて具体的にお話をして頂きました。参加された方々は、熱心に講演を聞かれ、関心の高さを肌で感じました。

また、牧先生のお話はユーモアがあり、会場からは笑い声も聞かれ、とてもアットホームな講演でした。



＜参加者の声＞

「先生のお話がとてもわかりやすく、とても参考になった」

「認知症に関して不安はあったが、講演のお陰で安心できた」

「今後の認知症の家族の介護に早速とりいれたい」といった感想が寄せられました。



講演後、きらりの森の就労継続B型の須藤隆さんに体験発表をして頂きました。自分が病気になった時の話から、現在厨房で元気に働いている様子まで、具体的な様子やその時々で感じた気持ちなどを真剣に思いを込めて話されました。

話を聞かれた方から「当事者の経験や思いを聞いて胸を打たれた」との感想がありました。

（次ページへ続く→）

フォーラム開催の前後では、きらりの森の
プティパ（B型）で作ったプリンや焼き菓子の
販売を行いました。多くのお客様に来て頂き
追加のお菓子を用意するほどでした。大変好評で
完売することができ、本当にありがとうございました。



後日、フォーラムで大変お世話になった、道後地区の
民生児童委員協議会の藤家会長がプティパのカフェに
来店されました。「須藤さんとカフェに行く約束をした
ので来ました」とお聞きして、フォーラムがイベントで
終わるのではなく、フォーラムをきっかけに地域の方
とのつながりが生まれ、うれしく感じました。このよう
なつながりを大事にしていきたいと思います。



今後もこころの健康フォーラムを通じて、地域の方々の心の健康づくりや精神障がい者に対する
理解を進め、障害に関係なく、その地域に住む方が安心して自分らしく生活できるようになること
を目指していきたいと思います。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

就労移行

就職が決まりました！！

6月から、洋菓子店のエスプリに就職が決まりました。作業内容は、ケーキなど洋菓子の調理補
助の作業をしています。



お菓子作りの仕事がしたくて、きらりの森の
就労移行で訓練をしてきました。エスプリと
いう洋菓子店で、掃除や洗い物、調理補助の
作業で雇用して頂きました。長く働けるよう
に、努力していきたいと思います。

就職面接会へ行ってきました！！



9月8日に、ハローワークの就職面接会へ行
ってきました。スーツを買いに行ったり、証明
写真を撮ったり、履歴書を書いたりと一緒に準
備しました。みなさん、久しぶりの面接で緊張
しましたが、練習の甲斐もあり頑張って話せま
した。

面接の結果、内定をいただけた企業もあり、
「いままで頑張ってきてよかった！」と笑顔が
見られました。

ヘルパーコース利用者募集！！

きらりの森の就労移行支援事業では、生活のしづらさがわかる当事者だからこそ、ヘルパーとして誰かの役に立つ仕事につけるようにと、ヘルパーコースを開設しています。「私にヘルパーの仕事ができるかな・・・」と不安に思う方もご安心ください。徐々にステップアップしながら力が身に付けられるようにと、訓練プログラムを3つに分けております。

①きらりの森で、清掃や調理や洗い物など基本的な技術を習得します。

家庭での居室やトイレ、浴室、流しなどの清掃の練習をします。

②外部の研修にて、ヘルパー資格（介護職員初任者研修）を取得します。

ヘルパーの資格を、通信講座を利用して取得します。学習が円滑に進むように、きらりの森での予習や復習をスタッフが支援しながら学べます。

③きらりの森以外で、実際のヘルパーの働き方に近い環境で実習をします。

ヘルパーの資格を取った後は、実際の就労に近い環境で実習を行います。グループホームや共同住居での清掃や調理を経験します。

○その他：就職活動や就職後のアフターフォローは、きらりの森で行います。みなさんが、就労を継続できるように支援しますのでご安心ください。

※ヘルパー資格取得にかかる費用は、きらりの森が負担します。（通信講座受講料、テキスト代等）

＜対象者＞

- ・介護職員初任者研修の資格取得後、主に精神障がい者の家事援助（掃除・調理・買い物・話し相手）を希望する方。
- ・実際にヘルパーとして働く場合は短時間での勤務が可能ですが、就労移行のプログラムとして、作業と学習時間合わせて1週間に4日、4時間程度過ごせることが望ましいです。
- ・初任者研修のスクーリング研修（通信 週1～2日）に休まず、参加できる方。

※もし、体調によりスクーリングを休んだ場合でも、補講が受けられます。



お問い合わせ：就労移行支援事業担当 菊池・宮内

きらりの森の就労移行支援事業では、実践に近い環境で経験を積みながら、これまでも多くの方が一般就労を実現しています。昨年、今年と、初めて就職できた方や、十数年ぶりに就職できた方など、次々と夢を叶えました。

みなさんが、自信を持って一般就労へ向けて一歩踏み出せるように支援いたします。また、就職された方についても、安心して働けるように就職後のサポートもあります。一人でも多くの方が、就労の機会を得られるよう応援いたしますのでよろしくお願いします。

デコレーションケーキはおまかせ



ありがとう

クリスマスでもおなじみのプティパのデコレーションケーキ。実はバースデーケーキも密かに人気で、週に2～3個平均の注文を頂いております。人気の秘密はおいしさと安さはもちろん、そのユニークな飾りつけ。キャラクターケーキを含め、フルーツや演出など、できるだけお客様のご希望に沿うよう、工夫して作っています。



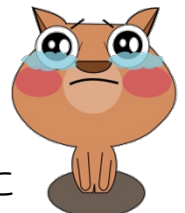
写真のケーキは、3歳の女の子のバースデーケーキ。メンバーが全部飾り付けました。クリームをスポンジに塗り、きれいにカットしたフルーツをセンス良く配置。日頃の練習の成果の賜物です。フルーツと動物が好きだという女の子の要望にみごと応えました。母も大きな声で「Happy Birthday♪」と歌っているようでしょう？ 女の子は大喜びで、家族に4回も「Happy Birthday」の唱和をアンコールしたそうです。

コメント



今回初めてバースデーケーキの仕上げをした福田です。以前から話は頂いていたのですが、いざ本番、しかも練習の5号ではなく二回りも大きい7号サイズということで、とても緊張しました。緊張しすぎたのと頭の中で何度も練習したことで、前日は一睡もできませんでした(´；) 一番難しかったのはクリームを平らに伸ばすことでした。表面はもちろん側面も平らに、強すぎず弱すぎず一定の力で仕上げる…とても難しかったです。文字入れも難しく、まな板で何度も練習しました。次からは緊張しないと思うので、機会があればまたやってみたいと思います。

念願のコラボですう！



あの!! おなじみ口笛ベーカリーのパンを使ったメニューが、カフェ＊プティパに登場しました。

口笛ベーカリーと言えば、NPO 法人ほっとねっとさんが運営しているB型事業所。プティパと同じように、B型事業所と言えど妥協しない品質で人気のパン屋さんです。

カフェ＊プティパはこの夏、例年にない盛況ぶりで、月間来客数1000人に到達しました。そこで人気だったのが、オープン以来看板メニューでもある「ロコモコ丼」。ハンバーグのジューシーさと柔らかさを追求し、こだわりレシピで安定感バツグンのハンバーグを、シーズンが過ぎても味わってもらおうと始めたのが「ハンバーガー☆ランチ」。食べ応えのあるハンバーグにも負けず、肉汁を安心して抱擁してくれるもっちりしっかりのパンズは、口笛ベーカリー以外考えられません。

1日限定5食! ベーコンバーガーときらきらサラダがついて、満足の一皿になっておりますので、ぜひお試しください!



まいぴーす大展覧会

夏の暑さも和らぎ、徐々に秋の気配を感じてきた今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

まいぴーすでは様々な年代の方が利用される中で、みんなで一緒に楽しめるものとして、いろいろな作品を作っています。芸術の秋ということで、習字や粘土、絵ハガキなどの作品を作りました。



書道は、利用者の方に経験者の方がおられ、その方の楽しみややりがいにつながることを目的に始めました。みなさん熱心に取り組まれ、書く度に字が上手くなっていることにうれしさを感じている方もおられます。



初めて物作りに取り組まれた方や物作りが得意な方もいて何を作るか悩まれたりなど反応も様々でしたが、みなさん出来あがった作品を見て満足そうな表情でした(^_^)

家庭菜園始めました



9月よりベランダで家庭菜園を始めました。まず、みんなで何を植えるのかを話し合いました。その後、野菜の種やプランター、土などを買いに行きました。植えた野菜はベビーリーフ、ピッコロラディッシュです。まだ植えたばかりですが、みなさん芽が出るのを楽しみにされています。出来た野菜は、昼食作りなどで食べたいと思っています。



家族の集いを開催しています

きらりの森では、2 ヶ月に1回利用者の家族に集まって頂き、家族の集いを開催しています。きらりの森での活動内容や利用者の様子をご報告したり、逆にご家庭での様子を話していただくなど情報交換の機会となっています。

座談会でよく話されることは「親が本人の支援ができなくなった時の事」です。家族の集いでも相談支援事業所や地域で利用できる福祉サービスなどテーマを設けて勉強会を行っています。また、きらりの森の利用者から日頃の活動紹介や、将来の希望などを話してもらったこともあります。

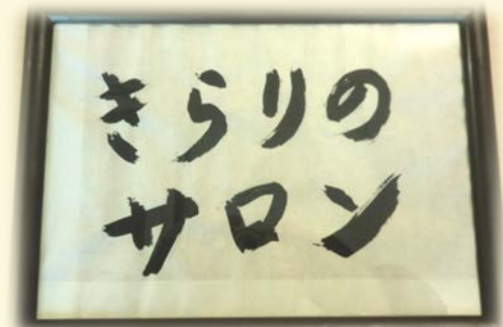
家族の集いでご家族の話を聞いていると、日頃の活動で利用者に変化があったときに「家族に知ってもらいたい」「家族に見に来てもらいたい」と思います。スタッフは皆家族の集いのご案内に合わせて手紙を書く時に、同じ様に思うそうです。これからも、ご家族の思いを心に留めつつ、利用者がきらりの森で生き生きと活動し、充実した時間を持てるよう支援していきたいと思っています。そして少しでもご家族の不安や心配ごとが解消されたら良いなと考えています。

きらりの森のサロンができました♪

休日にみんなで集まって、ゆっくり楽しく過ごすことを目的に、月1回のサロンを始めました。グループホーム大・共同住居勝山の入居者の方、きらりの森の利用者の方を対象にしています。8/30に第1回目のサロンを行いました。4名の方が参加され、将棋やウノ、雑談をして過ごしました。参加された方は、リラックスして楽しまれていた様子でした。今後も開催していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

＜サロンの看板＞

どの部屋がサロンの部屋か分かりにくいため、生活訓練の橘誠二さんに看板の字を書いて頂きました。



＜きらりの森 苦情報告＞

7月の受付件数	1件	8月の受付件数	0件	平成27年度の苦情累計	1件
---------	----	---------	----	-------------	----

受付日	内 容	対 処
平成27年 7月17日	【利用者支援に関して】薬をお預かりしている利用者が休むこととなり、その日の薬を自宅ポストに入れておく約束をした。対応した職員が自宅を間違えてポストに入れてしまい、本人から「届いていない」との連絡があって発覚した。	間違えて届けた家が不在だったため、本人へは急遽翌日分の薬を届けた。夜、間違えた家に訪問して謝罪を行い、薬を返してもらった。本人へも重ねて謝罪を行った。